授業科目名	美容文化論		科目コード	1501012	
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース		学　年	1，2年
担当教員	山内　亜希子・川端　夏代				
	実務経験教員（　有　・　無　） 実務経験内容 山内亜希子　美容師 平成 10 年　美容師免許取得 平成 16 年９月　美容文化論教員資格取得 川端夏代　美容師 平成 12 年　美容師免許取得 平成 16 年９月　美容文化論教員資格取得				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	６０時間
	必　須　・　選　択　・　選択必須			単　位　数	２単位
使　用 テキスト１	書　名	美容文化論			
	著　者				
	出版社	社団法人　日本理美容教育センター			
使　用 テキスト２	書　名	美容技術理論２			
	著　者	社団法人　日本理容美容教育センター			
	出版社				
参考図書	美容雑誌（ヴォーグ、ギャップ）				
授業形態	講義　・　演習　・　実習　・　実験　・　その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
美容の歴史的意味を理解し現代社会（サロン）での役割の洞察の助けになるよう悟性、感性を向上させる

＜授業の概要・授業方針＞
ファッション（髪型・服装・化粧）の歴史は人間の創造力や技術力の広がりを示すカタログであり、アイデアの宝庫であるので講義だけではなく美容雑誌、ＤＶＤ鑑賞、パワーポイントを利用し視覚的に見せ、視野を広げることを目指す

＜成績基準・評価基準＞
年２回の定期テストの８０点以上を『優』，７０点以上を『良』，６０点以上を『可』とし，それ以下の学生には追試試験を行う．

＜使用問題集・注意事項＞
自作の演習プリントや，まとめプリント，テスト対策プリントを随時配布している．また，国家試験直前には，出題部分を分野ごとにポイントのまとめと演習プリントを配布し，国家試験対策を行う

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞
・美容実習・美容技術理論２

授業科目名	美容文化論	
回	授　業　内　容	備　考
1、2	ファッション文化史・西洋編 古代エジプト・古代ローマ・古代ゲルマン	ＰＰ
3、4	中世ヨーロッパ	ＰＰ
5、6	近世Ⅰ（16 世紀）	ＰＰ
7、8	近世Ⅰ（16 世紀）	ＰＰ
9、10	近世Ⅱ（17 世紀）	ＰＰ
11、12	近世Ⅲ（18 世紀）	ＰＰ
13、14	近代Ⅰ（18 世紀～19 世紀初め）	ＰＰ
15、16	近代Ⅱ（19 世紀）	ＰＰ
17、18	現代Ⅰ（1910～1920 年代）	ＰＰ
19、20	現代Ⅱ（1930 年代）	ＰＰ
21、22	現代Ⅲ（1940～1950 年代）	ＰＰ
23、24	現代Ⅳ（1960 年代）	ＰＰ
25、26	現代Ⅴ（1970 年代）	ＰＰ
27、28	現代Ⅵ（1980 年代）	ＰＰ
29、30	現代Ⅶ（1990 年代～2010 年）	ＰＰ
31	期末試験	
32、33	ファッション文化史・日本編 縄文・弥生・古墳時代	ＰＰ
34、35	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	ＰＰ
36、37	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）	ＰＰ
38、39	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）	ＰＰ
40、41	近世Ⅱ（江戸時代）	ＰＰ
42、43	近代（明治・大正・昭和 20 年まで）	ＰＰ
44、45	現代Ⅰ（1945 年代～1950 年代）	ＰＰ
46、47	現代Ⅱ（1960 年代～1970 年代）	ＰＰ
48、49	現代Ⅲ（1980 年代～1990 年代）	ＰＰ
50、51	現代Ⅳ（2000 年代以降）	ＰＰ

52	理容業・美容業の発生	ＰＰ
53	江戸時代の理容業・美容業	ＰＰ
54、55	近代の理容業・美容業	ＰＰ
56、57	現代の理容業・美容業	ＰＰ
58	和装の礼装	ＰＰ
59	洋装の礼装	ＰＰ
60	期末テスト	